

指導力育成委員会 歴代委員長懇談会 議事

2019～2020年度

No.1

第 1 回

委員会名 GLT指導力育成委員会

委員長名 L 清水 峰次

開催 日時	2019年 10月 31日 木曜日 15時 45分 ~ 17時 30分					
開催 場所	キャビネット事務局会議室(大)					
出席者	×	伊賀地区ガバナー	×	進藤第1副地区ガバナー	×	中井第2副地区ガバナー
	GLT指導力育成委員会					
	○	L 清水 峰次 委員長	×	L 濱田 憲孝副委員長	×	L 篠宮 光央 委員
	○	L 梅本 泰寛 委員	×	L 小林 繁 委員	○	L 鈴木 昭雄 委員
	×	L 阪田 智之 委員	○	L 一瀬 晴雄 委員	○	L 清水 欣二 委員
	歴代指導力育成委員会 委員長					
	○	L 木島 庄一元委員長	○	L 野々 晴久元委員長	○	L 柳井 健一元委員長
	地区GLTコーディネーター					
	○	L 佐久間 洋一 コーディネーター	×	L 増田 正明 副コーディネーター		
	GLT会員会則委員会					
	○	L 知野 秀雄 委員長				
	GLT会員会則委員会					
	○	L 関 飛雄一 委員長				
	次 第	司会・進行 L				
1		開会の辞・趣旨説明				
2		出席者紹介				
3		GLTコーディネーター挨拶				
4		懇談会				
5		質疑応答				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	長年ライオンズに情熱を傾けることができた理由				
	2	ゾーンチェアパーソンの任務・責務が徹底されない理由				
	3	次世代に伝授すべきものとは				
			作成者	L 関 飛雄一		

議 題	審議経過事項の概要
1	開会の辞・趣旨説明 L.清水委員長
	今期、指導力育成委員会の諮問事項が7つもあり驚いた。
	先輩方に頼ろうという思いもある。若い委員が多い中で意見を頂戴したい。
2	出席者の自己紹介をおこなった
3	L.佐久間GLTコーディネーター挨拶
	次世代リーダーの発掘・育成に昔から共通して悩んでいる。
	指導すべき対象者が5年未満で辞めていなくなってしまうたり
	過去に重鎮の会員が若い会員を泣かせてしまった悩みもある中で
	リーダーを育てるのは大変だと思っている。
	セミナーは昼間に開催しているが、受講対象者は昼間に働いているので
	もっと考えなければいけないと考えている。
	歴代の委員長には次に繋がるお話を伺いたい。
4-1	長年ライオンズに情熱を傾けることができた理由
	<L.柳井元委員長>
	柳井Lが入会前、スポンサーより例会に誘われた。
	例会の雰囲気は暗く、最初は入会を拒んだが結局スポンサーに推されて入会した。
	スポンサーがアクティビティをやりたいというので交友メンバー数名を入会させた。
	個性の強い会員同士が喧々諤々と話し合い、今のクラブの原型が出来た。
	その後、キャビネットの役員を受けるのは反対であったが、自分がキャビネットに出向す
	諮問事項を皆で考えて一つの目標に向かって走ることが第一義的要素と思った。
	今ではチャンスがあればクラブからキャビネットに出すのが良いと思う。
	入会当時からどん底だったクラブを構築できたことから、今の自分が何とかやれば
	何でもできると意義を感じた。これが理由です。
	<L.野々元委員長>
	野々Lは知り合いの大工に勧められて入会した。
	例会には60人程居たが年寄りばかりで、例会場へ行っても端の席へ座っていた。
	会場の真ん中は圧縮されそうな雰囲気であり、意見を言えるような状況に無かった。
	10Rには正副幹事会というものがありZCと正副幹事が問題点を話す。
	副幹事は各クラブに1~4人居る。副幹事は若いメンバーが多く、1~2年目の方が多い
	副幹事になって積極的に話ができるようになり救われたような感じがした。
	その中からキャビネットへ出向する人も多く、野々Lもキャビネットへ出向した。
	兄貴のような人柄の委員長に会い、人間的にこの人と一緒にやっていきたいと思った。
	それからいろいろな人と挨拶が出来たり、話ができるようになった。
	リーダー的な存在の方から「自分の次はお前だよ」と言ってもらえるとリーダーが育つ。

議 題	審議経過事項の概要
	<L木島元委員長>
	1966年に木島Lは入会し、ライオンズ歴53年目。
	入会当初、クラブ会員の職業は材木屋、医者、弁護士であり、自分は下っ端の
	会社社長であった。その時、会長から言われた言葉が「木島君、ライオンズクラブ
	というのは会に入ったら皆平等なのだよ。上も下も無いのだよ。
	言いたいことがあったら、どんどん言ったら。」と言われてから意見を言うようになった。
	それから5年経って子クラブを作ることになり、その子クラブで指導を頼まれ転籍した。
	その後のチャーターナイトは自分が仕切ることになった。
	25周年以降は木島LがCNを取り仕切り、明治座で実施したCNは約1300人が集まった
	その後は会員会則委員長や指導力育成委員長など役職を任されるようになった。
	ライオンズ必携は、いつでも持っている。
	国際規約は分からないがクラブの問題になったら何でもやる。
	それからZC、RCは、あまり勉強されていないように思う。
	指導力とは何かを問いたい。指導力とは指導する人を育てること。
	それをやった人が過去にほとんどいない。清水委員長は指導する人を育てて欲しい。
	例会では誕生日のお祝いをやると仲が良くなる。
	誕生日の方にはスピーチをやってもらい、楽しくやっている。
	このようにやってもライオンズの会員数が減っていく原因はライオンズクラブのレベルが
	下がったことに間違いない。昔は、もっとレベルが高かったが今は低くなってしまった。
	これは大勢になったから仕方がない。
	またライオンズクラブは経営者の集まりだから個性が強い。
	会員数が30～40人になると派閥が出来て喧嘩が多くなる。
	このような現状を見てしまうと辞めてしまう人が多い。
	だから派閥を無くし、喧嘩をしないようにしてなだめるのが私の仕事となる。
	84歳になって会員は入れられない代わりに入会しやすい環境を作ってあげる。
	若い会員には「君付け」とか呼び捨てにせず、「さん付け」で呼ぶことにより
	若い会員が木島Lに近寄りやすくなる。
	例会でのドネーションは誰よりも先に自分が払う。それを皆が見ている。
	偉そうなことを言ってお金を払わないと文句を言われないようにしている。
	だから木島Lに対して悪く言う人はおらず、木島Lを見習えと言う人は多い。
	ガバナー公式訪問に出席しないクラブがある。これはZCが悪い。
	ZCはガバナー公式訪問の時だけは行きたくなくても出させる。
	そこで皆さんの意見を聞いていかないと活性化していかなくなると思う。
	クラブ会計の収支は毎月確認するようにしている。
	事務局に任せていると安心していたら間違えることが多いので毎月確認した方が良い。

議 題	審議経過事項の概要
4-2	ゾーンチェアパーソンの任務・責務が徹底されない理由
	<L清水委員長>
	木島Lから指摘を頂いたのはリーダーを育てること。簡単に言うと人の前で喋ること。
	指導力育成委員会ではいろいろなセミナーをやってきた。
	それでリーダーが育つと思ってしまうが、そんなことはない。おかしいと疑問に思う。
	今期の委員には委員長や副委員長になって欲しい気持ちで接している。
	それと時代の変化が激しい。GMTやGLTなど横文字が増えた。
	スペシャリティクラブが増えるなどアクティビティの形も変わってきた。
	会員種類も女性会員、家族会員、学生会員が増えた。その変化にどう対応するかが課題
	ZCの役割は大切なのに変わってこない理由を柳井Lに意見を伺いたい。
	<L柳井元委員長>
	この問題は変わっていないというより新しいZCが居る。ZCは3~4ヶ月前には内定してし
	来期ZCになる人は事前に勉強しておかないとスタートした時に間に合わない。
	自分がZCの依頼を受け、半年前には現ZCからUSBメモリに保存された資料をもらった
	問題点は現ZCから来期のZCへ引継ぎが出来ていないのではないのか。
	引継ぎが徹底されていないからZCがスタートして、なんとなく始まっている。
	1年間の流れを引き継ぐべきであり、前ZCの意見も踏襲しないと上手くいかないと思う。
	自分は心配性で笑われたくないから、しっかりやりたいという気概がある。
	ガバナー諮問委員会での挨拶の練習もする。
	<L木島元委員長>
	ZCに何をやってもらうか教えるのが下手だ。
	指導力を勉強してZCセミナーに出席させないとダメだ。
	ZCの資料はどう作ったら良いか指導した方が良い。資料が多いと誰も読まない。
	ガバナー諮問委員会ではA4用紙2~3枚の資料を読むだけにした方が良い。
	<L柳井元委員長>
	ZCセミナーでZCマニュアルがホームページ上にあることを伝えているか？
	<L清水委員長>
	HPを開けない方もおり個人を責めることは出来ない。
	今期、ZCセミナーはキャビネット会議終了後2~3日中に開催し何が大切か皆で話し合
	ガバナー諮問委員会では一つのテーマに沿って話し合ってもらおうと思う。
	それを覚えてもらわないとZCマニュアルを読んでも分からない。
	<L柳井元委員長>
	あるZCと会ってZCマニュアルの話をしたら「それは何ですか？」と言われた。
	日本語版の国際協会ホームページには、ものすごい量の資料がある。
	それを探して読む気持ちになってくれるか。
	ZCマニュアルが徹底されない理由はZCの自覚と意欲の欠如にあると思う。

議 題	審議経過事項の概要
	<p><L木島元委員長></p> <p>上から下へ一方通行はダメ。上から下、下から上へ両方から攻めないといけない。</p> <p>上から来た事項は揉まないといけない。</p> <p>主権はクラブだから上から来てもやらないのは良いが、それだと上が困ってしまう。</p> <p>各クラブが良い意見を出してくれるのであれば上の数は少なくとも良いと思う。</p> <p>上から物事を依頼した方がお願いしやすい。だからキャビネットの委員会が多い。</p> <p>ZCがクラブに必要なものを見抜いてくれればZCマニュアルなど要らない。</p> <p>あとはLCIFやYCEなどの献金をどこのクラブがいくら寄付したとか、寄付していないとか やんわりと話をした方が良い。</p>
	<p><L野々元委員長></p> <p>キャビネット会議が終わってからZCセミナーを開催するのは良いと思った。</p> <p>厚い資料を渡されて、条項を読まれて、何人が分かっているのか疑問に思う。</p> <p>ZCが分からなければ、会長・幹事にも伝わらない。</p> <p>YCEやオリパラの話など毎年3～4つは話すことが決まっている。</p> <p>過去に進藤第1副地区ガバナーがZCだった頃、説明資料が用紙2枚だったのが印象的 出席率や誰が出席したかなどの話は不要に思う。</p> <p>ZCが決まったら、いつから何をやるのか教えないといけないと思う。</p> <p>ZCセミナーに3回行って終わってしまうような気がする。</p>
	<p><L清水委員長></p> <p>第2～3回目のZCセミナーは現ZCのみだが、第4回目は次期ZCも呼ぶ予定。</p>
	<p><L柳井元委員長></p> <p>現ZCには次期ZCへ何を説明して何を引き継ぐのか説明する必要がある。</p> <p>引継ぎを実施すれば、ある程度は良いと思う。</p>
4-3	<p>次世代に伝授すべきものとは</p>
	<p><L清水委員長></p> <p>人の前に立って話せる人が身近に居ないか。</p> <p>強く自分の考えを言ってもらえる人が望ましい。</p>
	<p><L木島元委員長></p> <p>話が下手な人を呼んでやるのだったら、話し方教室の先生でも呼んだ方が良い。</p> <p>例えば「1917年にライオンズクラブが設立され…」と言ってしまふより、「第一次世界大 終わった頃、アメリカは暗黒の時代に…」と話、だんだんと話を膨らませて、 「その頃から1917年にライオンズクラブが設立され…」と言うだけで違ってくる。</p> <p>話には色を着けた方が良い。話には味を着けたほうが良い。</p> <p>その方が皆話を聞いてくれる。</p>

議 題	審議経過事項の概要
5	質疑応答
	<L関委員長>
	ZCセミナーでワークショップをやるがZCが上手く話せるようになる方法はあるか。
	<L柳井元委員長>
	喋るにあたって原稿を書くこと。
	原稿を書いて覚える人やスムーズに話せない人も居る。
	紙の文章を読んだのでは格好がつかないから自分で一度文章化することにより覚える
	途中でつかかえても読み飛ばしてしまっても良い。
	流れの始めと終わりはどう締めるか考えておけば、大抵の人は納得する。
	暴露しなければ、あの人はいろいろな事を知っていると思われる。
	文章を書いた時に難しい言葉を詰め込むのではなく、まずはオリエンテーションで出て
	言葉を皆に覚えて欲しい。
	以 上